

# 症状から治療まで 医療ナビ 第3回

＜アレルギー性鼻炎など・  
耳鼻咽喉科編＞

3月号からスタートした新連載「医療ナビ」。  
3回目は耳と鼻、のどの異常を取り上げ、耳鼻咽喉科が扱う主だった病気について、専門医の意見を交え、わかりやすく解説する。

## アレルギー性鼻炎

### 遺伝的体質と環境因子で生体防御機能が過剰に働くのがアレルギー性鼻炎

——アレルギー性鼻炎とは。

まず鼻には外界にあるハウスダストや花粉のような有害な物質がからだの中に入っていないように、鼻の中で免疫を起こして排除する働きがあります。その免疫機能が症状になつて現れたのがアレルギー性鼻炎。人の生体防御機能の1つが過剰に働くのがアレルギー性鼻炎なんです。

——アレルギー性鼻炎の原因となるアレルギー

ンはどういうものがあるのですか。

アレルギーには通年性と季節性の2種類がありますが、通年性ではハウスダストやダニ、ペットの毛などがアレルギーンになります。季節性は花粉で、花粉によつて起こるアレルギー性鼻炎を「花粉症」と言います。花粉症は本州ではスギ花粉症が多いのに対して、北海道で最も多いのがシラカンバ花粉症で、5月の大型連休の前後になりやすい。加えてイネ科やヨモギの花粉症は夏・秋に多くみられます。



旭川医科大学  
耳鼻咽喉科  
原 保明 教授

——診断と治療は。

北海道で代

表的なシラカンバ花粉症は天気の良い日に外出すると、くしゃみ、鼻水、鼻づまりがひどくなり、加えて目も痒くなつて涙が止まらない。それから1ヵ月経つと治まります。シラカンバ花粉症では果物（リンゴやモモなど）に対する口腔アレルギー症候群を併発しやすいこともスギ花粉症とは異なる点です。

治療では抗ヒスタミン剤による薬物療法で鼻水などの症状を抑えます。最近では舌下免疫療法といって、アレルギーンのエキスを舌下に載せることで抵抗性を高め体質改善をはかる治療も行われています。

